

人類に  
奉仕する  
ロータリー

● 会長 小林悠紀 ● 幹事 磯野武 ● SAA 関正己 編集/クラブ会報小委員会

## ◆本日のプログラム◆ ゲスト卓話 勝浦警察署長 小泉憲男氏

本日のゲスト：小泉憲男氏、鈴木しげる氏

## ◆小林会長挨拶◆

皆様こんにちは。本日はゲスト卓話の講師として勝浦警察署 署長 小泉憲男様と警務課係長の鈴木茂様にお越しいただいております。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

さて、今週は気象上の大きな出来事が二つありました。一つ目は昨日の初雪です。皆さんの事業所やご自宅の周辺は大丈夫でしたでしょうか。私の住まいの周りは朝方みぞれが降りましたがすぐに雨に変わり、積雪にはあたりませんでした。神社の石段を昇ったところから勝浦港の海面上に発生した神秘的な“けあらし”を見る事が出来ました。“けあらし”は気象用語では“蒸気霧”と言い、海水温と気温の差が 15℃以上の時に発生するそうです。北海道や富山県の雨晴海岸が非常に有名ですが、勝浦で観測できたのは非常に珍しいのではないかと思います。

二つ目は 22 日(火)5 時 59 分に発生した福島沖を震源とする M7.4 の地震です。勝浦では比較的小さな揺れと同時に津波警報が発令されました。福島第 2 原発 3 号機の使用済み核燃料プールの冷却装置が一時停止したとの報道もあり、5 年前の事を思い出された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私は地震が起きてすぐに一時避難場所になっている当社の境内を確認し、職員に連絡して出社してもらい周辺住民の非難に備えましたが、実際に津波想定時刻までに避難してきた方は 4~5 名でした。自然災害は過去の教訓を活かすことが大切だと言われています。房総沖を震源とした大きな地震がいつ起きるかも分りませんので、日頃から注意をしたいものです。また、災害時にロータリアンとして何が出来るかも、安全な日頃から常に考えなくてはならないと思います。

過去には勝浦でも大きな津波の被害がありました。慶長 6 年の慶長地震と、元禄 16 年の元禄大地震です。皆さんにお配りした資料をご覧ください。これは天正 15 年から慶長 14 年まで 23 年間に房総地方で起こった重大事件を記した「房総治乱記」の一部です。

「慶長六年辛丑十二月十六日、大地震。山崩れ海埋みて岳となる。この時安房上総下総の海上俄(にわか)に潮引き、三十餘町干潟となりて、二日一夜なり。同十七日子の剋(こく) 沖の方夥(おびただ)しく嘯りて潮大山の如くに巻き上げ、浪村山の七分に打ちかふる。早く逃げし者は遁(のが)れ、遅く逃げし者は死したり。先づ潮災に逢ひしは、部原、新官濱、澤倉濱、小湊、内浦、天津、(中略)御宿、岩和田、岩舟、(中略)すべて四十五ヶ所なり。」ここに記述のある干潟となった 30 余町を今流行りの東京ドーム何個分に換算すると、なんと約 6 個分にもなります。そして潮が大山の如く巻き上がり、村、山の 7 割に打ちかかったとの事で、その被害の大きさが分かります。なおここに浜勝浦は記載されていませんが、当社に残されている古文書には、元々現在の八幡岬の先端約 130 メートルあたりにあった富貴嶋という島に建っていた社殿がこの津波により流失したとの記録があります。そして富貴嶋はその後に発生した元禄大地震による地盤沈下により、海中に沈んでしまったそうです。このような被害があったのにも関わらず当時の資料が少ないのは、元禄大地震の被害があまりにも大きく、それ以前の多くの資料が津波で失われてしまったのだからだと思われます。「房総治乱記」は当時の様子を知る事が出来る貴重な資料です。千葉県立図書館 H.P 内の千葉県デジタルアーカイブから検索・閲覧出来ますので、是非ご一読いただければと思います。今回の地震は東日本大震災の余震と見られ、一週間程度は同規模の地震が起きる恐れがあるそうですので、皆さんお気を付け下さい。それでは本日も宜しくお願い致します。



●幹事報告●

- \*12月のロータリーレートは106円
- \*次年度地区委員：渡邊昌俊会員 青少年交換委員会
- \*関一憲会員：地区HPにスリランカの記事掲載

●委員会報告●

なし

司会進行：磯野典正 & 中村吉政ペア

★ニコニコBOX★

♪本人誕生日♪

渡辺幸男会員 11/6 73歳

♪配偶者誕生日♪

該当者なし

♪結婚記念日♪

渡辺幸男会員 48回目

おめでとうございます♪

★自主申告★

\*村石会員

バッテリー複数台盗難被害、犯人検挙して下さい

\*小林悠紀会員

神社に灯籠設置しました。千葉日報に掲載されました

\*磯野典正会員

12/3,4 お台場にてB-1 グランプリスペシャル

高校時代の友人の息子が楽天1位指名！応援よろしく

ありがとうございました♪

★ゲスト卓話★

勝浦警察の取組について

勝浦警察署  
小泉憲男署長



勝浦警察署は、明治10年2月、大多喜警察署勝浦分署として置かれ、大正15年に勝浦警察署となり、その後、昭和45年に大多喜警察署を統合して、勝浦市、夷隅郡大多喜町・夷隅町を管轄するようになりました。平成17年12月5日、夷隅町、大原町、岬町が合併し、いすみ市が誕生したことにより、この合併に伴って大原警察署がいすみ警察署に名称変更され、旧夷隅町はいすみ警察署に管轄変更となりました。勝浦市には、県内屈指の勝浦漁港があるほか、約400年来の素朴な朝市が続いています。

本日のランチ



(11/25)

例会出席率

92.3%

◆次回例会 (12/9) ◆

クラブ年次総会

●例会日● 毎週金曜日 12:30~13:30

●例会場● 東急ハーヴェストクラブ 勝浦市中島 590-9 0470(76)0109

事務局：勝浦市墨名 565-59 0470(73)7210 磯野歯科医院